

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	津山文化センター
(2) 指定管理者	所在地 津山市山下68番地 津山文化センター内 名 称 公益財団法人津山文化振興財団 代表者 理事長 浮 田 佐 平
(3) 公の施設の所管部署	津山市教育委員会生涯学習部文化課
(4) 指定期間	平成26年4月1日 ～ 平成31年3月31日
(5) 評価対象期間	平成29年4月1日 ～ 平成30年3月31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	80,979人（前年度73,798人）
(2) 事業の内容	・施設管理業務及び自主文化事業等 （自主文化事業及共催事業） 映画鑑賞会、アートキャラバン2017（共催） ・年間稼働率96.6%（前年度95.3%）

3 収支の状況

(1) 収入 （指定管理者の収入）	総額 46,839千円（前年度44,495千円） 指定管理料 23,246千円 利用料金収入 22,133千円 その他の収入 1,460千円
(2) 支出 （指定管理者の支出）	総額 38,418千円（前年度35,993千円） 主な支出 人件費 15,945千円 光熱水費 4,619千円 修繕・消耗品費等 1,573千円 委託料（施設管理費） 11,427千円 事業費 431千円 負担金・公租公課 1,362千円 その他 3,061千円

4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	・建物は50年の歴史を感じさせる。 ・スタッフの心配りと対応が素晴らしい。 ・階段が多く、大変負担である。エレベーターの設備が欲しい。 ・駐輪場がない。 ・冷暖房の効が悪い。 ・食事ができる場所がない。（喫茶コーナーを作してほしい。）
(2) 指定管理者の自己評価	・会場利用者に対して、技術提供はもちろん、利用方法など積極的にサポートを行っている。 ・自主事業では、5人のアーティストが全国9カ所を回るワークショップや、映画鑑賞会では津山市PTA連合会など他団体と連携してより多くの来場者が見込まれるよう努力している。

	・今後も利用者の利便性を考慮し、安心して利用できる施設の管理運営を目指す。 ・第10回津山国際総合音楽祭があり、今年は例年に比べ自主事業の開催は少なかったが、施設の稼働は順調であった。
(3) 市の評価	本年度は、第10回津山国際総合音楽祭のメイン会場ということもあり、ホールの利用者数、稼働率、利用料金ともに昨年度を上回り予定以上の実績があげられた。また、展示ホール、会議室等の利用も非常に高い稼働率を出しており、市民の身近な施設としての施設運営が行われている。これはアンケート調査の回答からも読み取れるように、職員による技術提供と利用促進に繋がる丁寧な対応によるものと推察される。 施設の耐震化及び大規模改修により、平成30年度から平成31年度においては、施設の貸館業務は行えないが、新施設の適正な運用と市民の多様なニーズに応えられるよう、様々なジャンルの自主事業の企画や幅広い年齢層のユーザー確保に向けた取組を求める。